

2003 年度（平成 15 年度）第 1 回理事会（次期理事予定者との合同会）記録

日 時：2003 年 2 月 22 日（土）14：00～17：00

場 所：八重洲倶楽部「第 2 会議室」

出席者：廣川信隆（理事長）、猪口哲夫、河田光博、高田邦昭、山科正平（以上常務理事）

近藤尚武、佐藤達夫、杉浦康夫、瀬口春道、高野吉郎、田中重徳、村上宅郎

（以上理事）、内山安男、（監事）、依藤宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

陪 席：井出吉信、大野伸一、木山博資、柴田洋三郎、正村静子、菅沼龍夫、竹内義喜、武田正子、福本哲夫（次期理事予定者）

欠席者：井上芳郎、塩田浩平、仙波恵美子、野条良彰、村田長芳（以上理事）

上田秀一（監事）

（上記各項目五十音順）

理事長挨拶

御多用中をお集まり頂き感謝したい。現在科学技術関係の政府予算は全体としては伸びているが、大きく伸びているのは主として top down 型の応用科学面の予算であり、解剖学会会員の大多数が関係している bottom up 型の研究費予算額はあまり伸びていない。この状況にあり、後者の予算の増加に向け努力している。ところで学会活動としては学術集会及び学会誌刊行の二大事業は特に大切なものであり、盛り上げて行かねばならないものであるが、幸い関係の方々の努力により順調に進んでいる。教育面、各種委員会活動、来年にせまった国際解剖学会議についても関係の方々にそれぞれ御努力頂いており、感謝したい。財政的には厳しい状況にあることには変わりはないが、欧文誌の科研費刊行助成金が得られたことなどもあり、単年度では赤字にならずに済んだ。今期の理事の方は残りの任期を、来期の方は 4 月からの学会の発展に向け一層の努力・御協力をお願いしたい。

・議事録署名人の選任

議事録署名人として村上宅郎、近藤尚武両理事が選出された。

・前回会議記録の確認

2002 年度第 3 回理事会（メーリングリストによる）の会議記録が承認された。

・報告事項

1. 庶務報告（猪口庶務担当常務理事）

2003・2004 年度役員選出選挙結果報告

標記につき、配付資料に基づき、結果報告がおこなわれた。なお支部により投票率の低い所がある、他支部の候補者への投票がかなりの数にのぼる、などの問題点が述べられ、理事長より会員が学会活動に関心を持つよう働きかけて頂きたい旨、発言があった。

第 108 回総会・全国学術集会準備状況報告

資料に基づき準備状況の説明がおこなわれた。

その他

第 108 回総会に関し、委任状の集まりがわるく関係者に投函を呼びかけるよう依頼がなされた。

2. 編集報告（高田編集担当常務理事）

「Anatomical Science International (ASI)」及び「解剖学雑誌」刊行状況報告

「ASI」刊行・編集状況等につき資料に基づき、続いて「解剖学雑誌」刊行状況に

つき説明がなされ、和文誌と英文誌の整合性をどうとってゆくかが今後の課題であるとの報告があった。

学会ホームページ運用状況報告

情報技術委員会（委員長辰巳治之札幌医大教授）の協力により運用している学会ホームページの運用状況につき、報告がなされた。解剖学用語委員会（委員長清木勘治東海大名誉教授）により編集のおこなわれた「日本語による解剖学用語」は学会ホームページを通じて 2002 年 11 月公開された。また、ASI の全文も学会ホームページを通じてリンクが可能となることが報告された。

その他

学会抄録データベースが JST に移行することになり、UMIN が従来通り利用できるかどうかを調整中であり、また地方会抄録についてはなるべく費用のかからない方法を検討中である旨、報告があった。

3. 企画・渉外報告

2002 年度奨励賞選考結果報告

申請者 5 名のうち 3 名が受賞者にふさわしい旨報告があった。なお、選考委員会から提案のあった選考規約の改正については、審議事項 3. で審議がおこなわれた。

4. 会計報告

2002 年度収支報告資料をもとに報告がおこなわれた。

その他

2003 年度収支予算案については既に 2003 年度第 3 回理事会において承認されているところであるが、2002 年度収支決算をもとに微修正された 2003 年度収支予算第 2 案が提示され、承認された。

審議事項

1. 文部科学省事務局実地検査報告で指摘された改善を要する事項への措置について（各種内規の制定について）

検査事項、指摘された問題点、講じた措置及び措置に必要な新たな内規（案）等につき、資料をもとに審議がおこなわれ、原案通り承認された。

2. 科研費審査委員候補者の推薦方法について（推薦委員会からの提案）

2003 年度科研費審査委員候補「推薦委員会」（委員長佐藤達夫医歯大教授）より提案の科研費審査委員候補の推薦方法の改善案につき審議がおこなわれ、一部修正の上承認された。

3. 2002 年度奨励賞選考委員会からの提案について

標記委員会からの提案の奨励賞募集要項・規約等の改訂につき、審議がおこなわれ、ほぼ原案通り承認された。

4. 2003 年度永年会員推薦の件

資料を基に審議がおこなわれた。13 名の候補者の中に一名 2003 年度以降も現役の教授職におられる方があり、残り 12 名の方については学術評議員会・総会に推薦することが決定された。

上記の方については永年会員への移行に関するご本人の希望を再調査した上で、常務理事会で学術評議員会・総会への推薦を決定することが承認された。

5. 申請による学術評議員審査の件

申請の出された 8 件につき資料をもとに審査がおこなわれた。最終的な審査は申し合わせにより、

出席の全理事の投票により過半数を得たものが承認とされるため、投票が実施された。その結果 3 名の候補者が過半数の得票を得、学術評議員会・総会に諮られることになった。

6 . 2002 年度技術士功労賞選考の件

資料をもとに審議がおこなわれ、3 名の被推薦者全員について功労賞の贈呈が決定された。

7 . 第 110 回（2005 年度）総会・全国学術集会開催校選定の件

立候補のあった富山医科薬科大学における開催が承認された。

8 . その他

第 108 回総会における議長の件。総会における議長は慣例により会頭がおこなうことになっているが、会頭の猪口哲夫久留米大学教授は庶務担当理事を兼任しているため、議長を副会頭の吉塚光明教授にお願いしたい旨説明があり、了承された。